

世界好利回り短期債券ファンド（毎月決算型）

愛称：キュート

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2019年10月16日～2020年4月13日

第152期決算日：2019年11月12日 第155期決算日：2020年2月12日

第153期決算日：2019年12月12日 第156期決算日：2020年3月12日

第154期決算日：2020年1月14日 第157期決算日：2020年4月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界主要国の短期債券を主要投資対象とし、信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国に一定の比率で投資することで、安定した収益の獲得をめざし、運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第157期末（2020年4月13日）

基準価額 4,884円

純資産総額 2,292百万円

第152期～第157期

騰落率 - 1.2%

分配金合計(*) 35円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

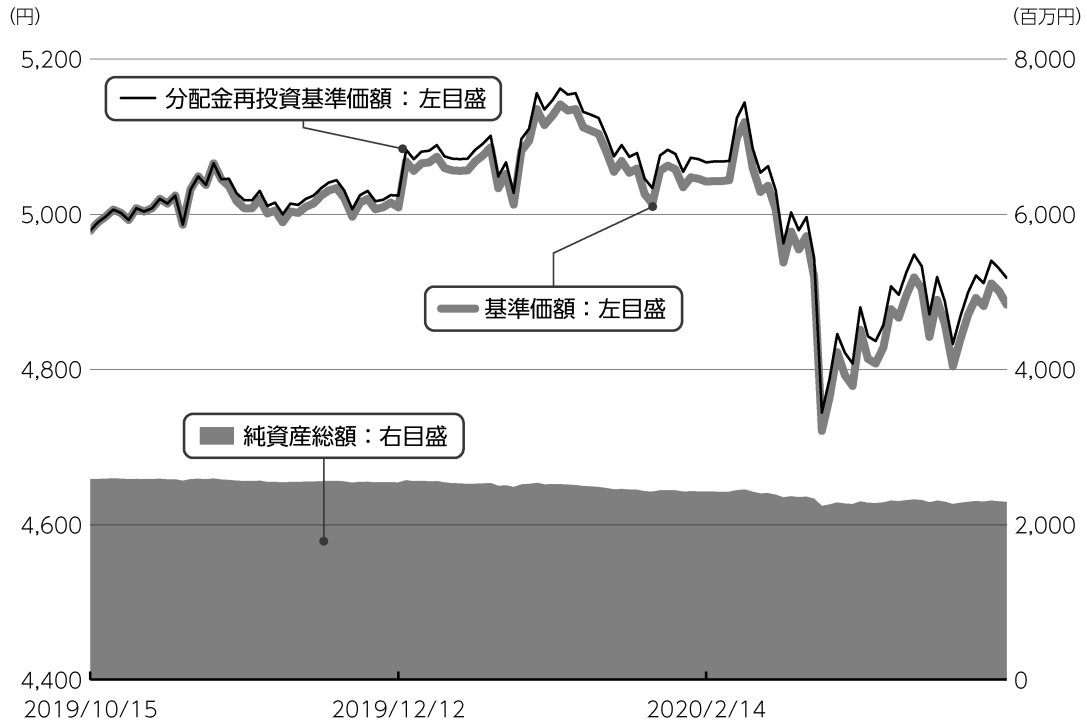
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第152期～第157期：2019年10月16日～2020年4月13日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第152期首	4,979円
第157期末	4,884円
既払分配金	35円
騰落率	-1.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、投資国の短期金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資国通貨が対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

2019年10月16日～2020年4月13日

1万口当たりの費用明細

項目	第152期～第157期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.518	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.225)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.020)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.064	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.053)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	29	0.582	

作成期中の平均基準価額は、4,999円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

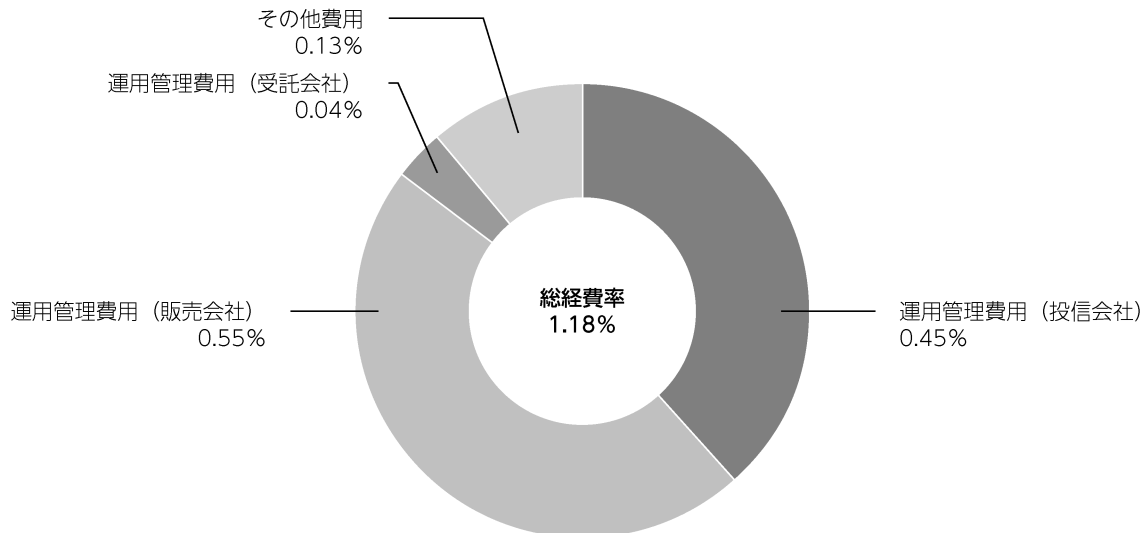
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.18%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

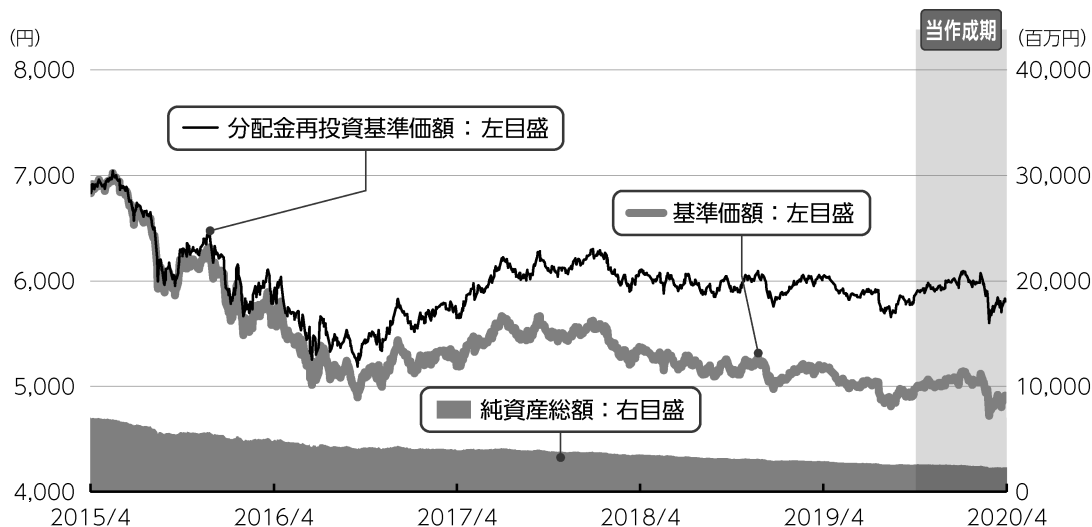
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年4月13日～2020年4月13日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2015年4月13日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/4/13 期初	2016/4/12 決算日	2017/4/12 決算日	2018/4/12 決算日	2019/4/12 決算日	2020/4/13 決算日
基準価額 (円)	6,906	5,591	5,190	5,346	5,174	4,884
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	240	240	130	95
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-15.8	-2.8	7.6	-0.8	-3.8
純資産総額 (百万円)	7,033	4,817	3,908	3,520	2,887	2,292

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

▶ 債券市況

マレーシア、米国、シンガポール、カナダ、ポーランドの短期金利は低下しました。

マレーシア、米国、シンガポール、カナダ、ポーランドの短期金利は、2020年2月以降に新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響を緩和するため、各国が相次いで金融緩和政策を発表したことから低下しました。マレーシアでは政策金利の引き下げ、米国では政策金利の引き下げと国債等の買い取りの拡大が発表され、シンガポール通貨庁（MAS）もシンガポールドルの為替レート政策バンドの傾斜をゼロにする金融緩和政策を発表しました。また、カナダの中央銀行や欧州中央銀行（ECB）も新たな資産購入プログラムを導入しました。各国の新型コロナウイルス対応による財政規律への懸念の高まりから、一時的に短期金利に上昇圧力が生じた局面もありましたが、当作成期首との対比では、マレーシア、米国、シンガポール、カナダ、ポーランドの短期金利は低下しました。

▶ 為替市況

マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、カナダドル、ポーランドズロチは対円で下落しました。

マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、カナダドル、ポーランドズロチは、当作成期首から2020年1月半ばにかけて、米中通商協議の部分合意の発表、英国の欧州連合（EU）離脱への不透明感の後退を受け、投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから対円で堅調に推移しました。しかし、それ以降は新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化し、2020年2月以降の為替市場は混乱しました。米ドルに関しては、世界的な米ドル需要の高まりから2月下旬に急激に対円で上昇した後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が本格化した3月には対円で乱高下する展開となりました。マレーシアリングgit、シンガポールドル、カナダドル、ポーランドズロチは、2020年2月以降は上記新型コロナウイルス感染拡大による投資家のリスクセンチメントの悪化から、対円で下落しました。結果、当作成期首との対比では、マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、カナダドル、ポーランドズロチは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国（利回り面で有利であると判断した場合には4カ国へ投資、投資通貨数を絞り込む効果が限定的と判断した場合には為替リスク分散のため5カ国へ投資）に一定の比率で投資する商品性に基づき、当作成期においては、

作成期首から2020年1月初まではマレーシア35%、米国30%、シンガポール20%、ポーランド15%、その後作成期末まではマレーシア30%、米国25%、シンガポール20%、カナダ15%、ポーランド10%を組み入れて運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第152期 2019年10月16日～ 2019年11月12日	第153期 2019年11月13日～ 2019年12月12日	第154期 2019年12月13日～ 2020年1月14日	第155期 2020年1月15日～ 2020年2月12日	第156期 2020年2月13日～ 2020年3月12日	第157期 2020年3月13日～ 2020年4月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.198%)	5 (0.100%)	5 (0.097%)	5 (0.099%)	5 (0.104%)	5 (0.102%)
当期の収益	8	5	5	5	5	5
当期の収益以外	1	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	113	115	123	124	124	130

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

利回り水準、格付、流動性などの観点から、当面、マレーシア、米国、シンガポール、カナダ、ポーランドを中心とした運用を行いま

すが、必要に応じ入れ替えも検討して参ります。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・ 該当事項はありません。

▶ その他

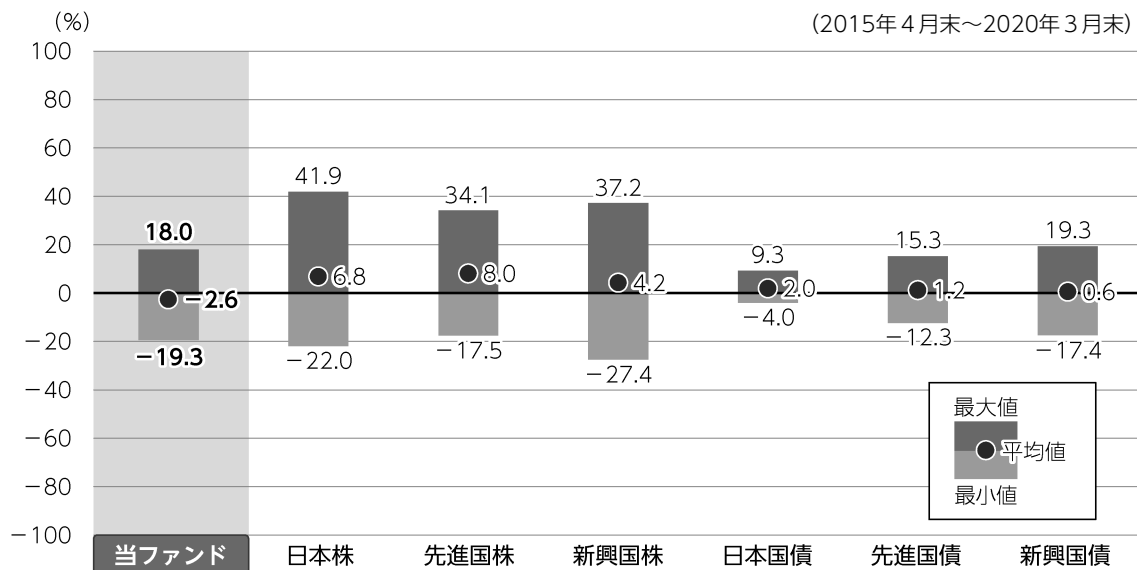
- ・ 該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（2006年12月20日設定）
運用方針	世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。信用格付がA格相当以上の国の中から、債券市場の規模、投資に係る規制等を勘案して投資候補となる国を決定します。投資にあたっては、利回り水準の高い国を複数選定し、当該国通貨建ての債券に投資することを基本とします。投資配分については、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。投資候補国および投資国の見直しは、委託会社が必要と認めた場合に行います。為替変動リスクを軽減させるため、為替ヘッジ取引等を活用する場合があります。
主要投資対象	わが国を含む世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	世界主要国の短期債券を主要投資対象とし、信用力の高い、好利回り国の短期債券へ分散投資を行うことにより、安定した収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年4月から2020年3月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年4月13日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：12銘柄)

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率(%)
1	3.62 MALAYSIAGOV 211130	債券	マレーシア	国債	19.9
2	1.5 CAN GOVT 220201	債券	カナダ	国債	14.8
3	2.75 T-NOTE 210815	債券	アメリカ	国債	14.6
4	2.125 T-NOTE 220515	債券	アメリカ	国債	9.8
5	2.25 SINGAPORGOVT 210601	債券	シンガポール	国債	8.8
6	3.882 MALAYSIAGOV 220310	債券	マレーシア	国債	8.5
7	1.25 SINGAPORGOVT 211001	債券	シンガポール	国債	5.7
8	3.125SINGAPORGOVT 220901	債券	シンガポール	国債	5.3
9	5.75 POLAND 211025	債券	ポーランド	国債	4.3
10	2.25 POLAND 220425	債券	ポーランド	国債	4.1

※比率は純資産総額に対する割合です。

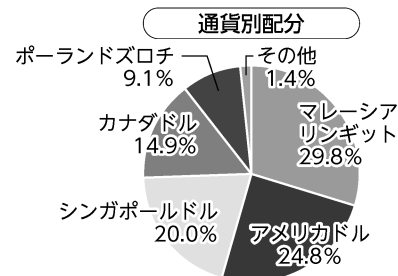
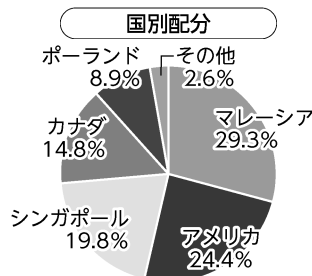
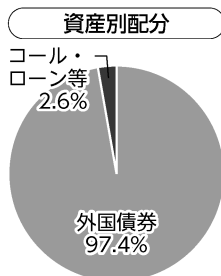
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目		第152期末 2019年11月12日	第153期末 2019年12月12日	第154期末 2020年1月14日	第155期末 2020年2月12日	第156期末 2020年3月12日	第157期末 2020年4月13日
純資産総額	(円)	2,575,403,813	2,542,871,329	2,537,648,949	2,429,730,308	2,271,745,252	2,292,169,962
受益権口数	(口)	5,113,885,211	5,076,350,440	4,940,520,237	4,813,677,576	4,739,256,063	4,693,059,389
1万口当たり基準価額	(円)	5,036	5,009	5,136	5,048	4,793	4,884

※当作成期間中（第152期～第157期）において追加設定元本は23,665,353円
同解約元本は530,226,635円です。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信